

第100回 定時株主総会 招集ご通知



株主のみなさまへ



取締役会長

取締役代表執行役社長

榑原 定証

森 望

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜わり、厚くお礼を申し上げます。

当社は、コンプライアンスに関わる不適切な事案が相次いだことを受け、二度とこのような事態を起こすことのないよう、内部統制の強化や組織風土改革をはじめとする諸改革を、グループ一丸となって進めてまいりました。加えて、エネルギー事業を取り巻く環境が大きく変化する中、当社は、中期経営計画に掲げた取組みの柱である、「ゼロカーボンへの挑戦(EX)」、「サービス・プロバイダーへの転換(VX)」、「強靱な企業体質への改革(BX)」を着実に進め、前半3カ年の財務目標についても達成することができました。

本年4月には、長期的な方向性を見据えながら、中期経営計画の今後2カ年の内容をアップデートしました。これまでの3本柱の取組みを深化させ、グループを挙げて着実に実行していく決意です。特に、脱炭素については、「関西電力グループ ゼロカーボンロードマップ」を改定し、チャレンジングな目標を新たに設定するなど、引き続き、2050年ゼロカーボン社会の実現に向け、力を尽くしてまいります。

当社は、今後も、エネルギーの安全・安定供給の責務を全うするとともに、お客さまや社会のご期待にお応えしながら、グループの持続的成長の道を力強く切り拓いていく所存です。株主のみなさまにおかれましては、引き続き、ご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 電子提供制度に対応した招集ご通知をお送りしております。
株主総会資料全体は、こちらをご覧ください。
- 社長の森 望から株主のみなさまへのメッセージ動画を
掲載しております。ぜひご覧ください。
<https://www.kepco.co.jp/ir/stockholder/meeting/index.html>



株主総会資料のポイントを
抜粋したスマートフォン対応
ウェブサイトはこちら。
<https://p.sokai.jp/9503/>



証券コード 9503

第100回 定時株主総会招集ご通知

拝啓 株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、当社第100回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社ウェブサイトおよび下記「株主総会資料 掲載ウェブサイト」に掲載しておりますので、以下のいずれかのサイトにアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

当社ウェブサイト

<https://www.kepco.co.jp/ir/stockholder/meeting/index.html>



株主総会資料 掲載ウェブサイト

<https://d.sokai.jp/9503/teiji/>



議決権の行使につきましては、4頁に記載の「議決権の行使についてのご案内」をご確認のうえ行っていただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1 日 時	2024年6月26日（水曜日）午前10時
2 場 所	大阪市住之江区南港北2丁目1番10号 ATCホール
3 目的事項	報 告 事 項 1. 2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査委員会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）計算書類の内容報告の件 決 議 事 項 〈会社提案（第1号議案から第3号議案まで）〉 第1号議案 剰余金の処分の件 期末配当につきましては、1株につき金25円といたしたいと存じます。 第2号議案 定款の一部変更の件 事業目的に「銀行代理業」、「生命保険募集事業、損害保険代理業及び少額短期保険代理業」を追加したいと存じます。 第3号議案 取締役13名選任の件 以下の取締役13名の選任をお願いいたしたいと存じます。

候補者番号	氏 名		
1	さかき ばら 定 征	再任	社外 独立
2	とも の 友 野 宏	再任	社外 独立
3	たか まつ 高 松 和 子	再任	社外 独立
4	ない どう 内 藤 文 雄	再任	社外 独立
5	ま なべ 真 鍋 精 志	再任	社外 独立
6	た なか 田 中 素 子	再任	社外 独立
7	その 園 潔	新任	社外 独立
8	や はぎ 矢 萩 典 代	新任	社外 独立

候補者番号	氏 名		
9	もり のぞむ 森 望	再任	
10	あら き まこと 荒 木 誠	再任	
11	お がわ ひろ し 小 川 博 志	新任	
12	しま もと やす じ 島 本 恭 次	再任	
13	にし ざわ のぶ ひろ 西 澤 伸 浩	再任	

第3号議案（取締役13名選任の件）の詳細は、こちらをご覧ください。

<https://www.kepco.co.jp/ir/stockholder/meeting/100kai/pdf/sennin.pdf>



当社取締役会は、第4号議案から第21号議案までの全ての議案に反対いたします。

〈株主（26名）からのご提案（第4号議案から第9号議案まで）〉

第4号議案	定款一部変更の件	原子力発電事業からの撤退および着実・安全な廃炉、廃棄物管理等
第5号議案	定款一部変更の件	事業およびサプライ・チェーン、投資・出資の脱炭素化
第6号議案	定款一部変更の件	情報開示、対話の質の評価・改善の仕組みづくり
第7号議案	定款一部変更の件	頑健な設備・事業体制、人材の育成・定着、技術の開発・継承
第8号議案	定款一部変更の件	職場におけるジェンダー平等の実現、性差別の解消
第9号議案	定款一部変更の件	議事録の正確な記載、一般への開示

〈株主（92名）からのご提案（第10号議案から第18号議案まで）〉

第10号議案	取締役解任の件	取締役 榊原 定征
第11号議案	取締役解任の件	取締役 森 望
第12号議案	取締役解任の件	取締役 田中 素子
第13号議案	定款一部変更の件	社外取締役、執行役の報酬個別開示
第14号議案	定款一部変更の件	原子力発電に頼らないゼロカーボンの実現
第15号議案	定款一部変更の件	再処理の禁止
第16号議案	定款一部変更の件	避難計画の実効性の担保がない原発の稼働禁止
第17号議案	定款一部変更の件	電気事業連合会の解散と新団体の設立
第18号議案	定款一部変更の件	原子力損害賠償制度の見直しがない原発の稼働禁止

〈株主（1名）からのご提案（第19号議案）〉

第19号議案	定款一部変更の件	ゼロカーボン社会の実現への貢献
--------	----------	-----------------

〈株主（1名）からのご提案（第20号議案および第21号議案）〉

第20号議案	定款一部変更の件	原発に依存しない持続可能で安心安全な電力供給体制の構築
第21号議案	定款一部変更の件	ゼロカーボン社会の実現

各議案の詳細は、こちらをご覧ください。

https://www.kepco.co.jp/ir/stockholder/meeting/100kai/pdf/100kai_syosyu_02.pdf



以 上

- ・電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令および定款の規定に基づき、書面交付請求をいただいた株主さまに対して交付する書面には記載しておりません。なお、監査委員会および会計監査人は次の事項を含む監査対象書類を監査しております。
 - ①事業報告の「財産および損益の状況の推移」、「主要な事業内容」、「主要な事業所等」、「使用人の状況」、「主要な借入先」、「責任限定契約の内容の概要」、「補償契約の内容の概要」、「役員等賠償責任保険契約の内容の概要」、「会計監査人の状況」および「取締役および執行役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制その他業務の適正を確保するための体制およびその運用状況」
 - ②連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」および「連結注記表」
 - ③計算書類の「貸借対照表」、「損益計算書」、「株主資本等変動計算書」および「個別注記表」
 - ④監査報告書の「会計監査人の監査報告書」
- ・電子提供措置事項に修正が生じた場合は、前記インターネット上の当社ウェブサイト等にその旨、修正前の事項および修正後の事項を掲載させていただきます。

議決権の行使についてのご案内

インターネット



インターネットにより議決権を行使される場合は、下記の「インターネットによる議決権行使のご案内」をご確認のうえ、ご行使ください。

行使期限

2024年6月25日（火曜日）
午後5時30分入力完了分まで

ご郵送



同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、ご返送ください。
各議案について賛否の表示がない場合は、会社提案については賛、株主からのご提案については否の表示があったものとして取り扱います。

行使期限

2024年6月25日（火曜日）
午後5時30分到着分まで

ご出席



株主総会にご出席される場合は、同封の議決権行使書用紙を会場受付へご提出ください。

株主総会開催日時

2024年6月26日（水曜日）
午前10時

インターネットによる議決権行使のご案内



QRコードを読み取る方法

- ① お手元の議決権行使書用紙の副票（右側）に記載された「ログイン用QRコード」を読み取りいただくことでログインできます。
- ② 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

議決権行使書

〇〇〇〇〇〇〇〇 御中

株主総会日 議決権の数 XX股

XXXX年XX月XX日

1. _____

2. _____

ログイン用QRコード

QRコードを読み取る

〇〇〇〇〇〇〇〇

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



ログインID・パスワードを入力する方法

議決権行使サイト <https://evote.tr.mufg.jp/>

三菱UFJ信託 議決権行使サイト 検索

- ① お手元の議決権行使書用紙の副票（右側）に記載された「ログインID」および「仮パスワード」を入力し「ログイン」をクリックしてください。

議決権行使書

〇〇〇〇〇〇〇〇 御中

株主総会日 議決権の数 XX股

XXXX年XX月XX日

ログインID XXXX-XXXX-XXXX-XXX

仮パスワード XXXXXX

拡大

ログイン用QRコード

QRコードを読み取る

〇〇〇〇〇〇〇〇

ログインID、パスワードをご入力ください。「ログイン」をクリックしてください。

ログインID 4桁 4桁 4桁 3桁 (半角)

パスワード または仮パスワード (半角)

パスワードを変更される場合は、ログインIDおよび現在ご登録されているパスワードをご入力ください。「パスワード変更」をクリックしてください。

- ② 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

システム等に関する
お問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部 ヘルプデスク

0120-173-027

○通話料無料
○受付時間 午前9時～午後9時

- ・書面とインターネットにより、二重に議決権を行使された場合は、到着日時を問わず、インターネットによる行使を有効なものとして取り扱わせていただきます。
- ・インターネットにより、複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行われた行使を有効なものとして取り扱わせていただきます。

(議決権電子行使プラットフォームについて)

株式会社ICJが運営する「機関投資家向け議決権電子行使プラットフォーム」にご参加の株主さまは、当該プラットフォームにより議決権を行使することができます。

(代理人による議決権の行使)

株主総会にご出席いただけない場合は、議決権を有する他の株主の方1名を代理人として株主総会にご出席いただくことができます。ただし、代理権を証明する書面のご提出が必要となりますのでご了承ください。



2024年3月期決算概要

売上高(連結)

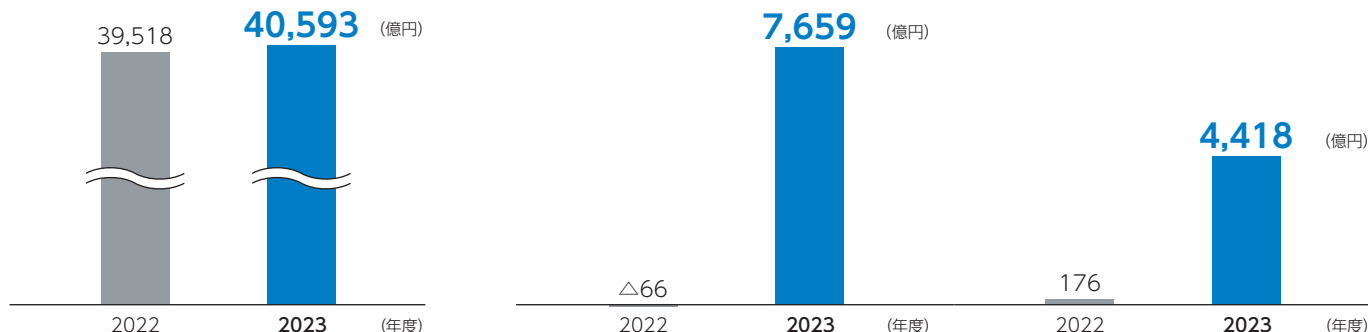
40,593 億円 前年度比 +2.7%

経常利益(連結)

7,659 億円 前年度比 —

親会社株主に帰属する 当期純利益(連結)

4,418 億円 前年度比 —



業績の Point

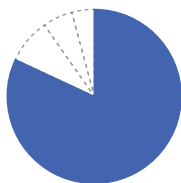
- ✓ 2024年3月期の連結の業績は、増収・増益。
- ✓ 販売電力料収入が増加したことなどにより経常収益は増加。
- ✓ 原子力利用率の上昇による火力燃料費の減少などにより経常費用は減少。

●事業別の状況

エネルギー事業

売上高構成比

82.1%



売上高

2022年度 31,097 億円

+7.3%

2023年度 33,356 億円

経常利益

2022年度 △274 億円

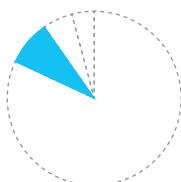
—

2023年度 5,838 億円

送配電事業

売上高構成比

8.4%



売上高

2022年度 4,699 億円

△27.3%

2023年度 3,418 億円

経常利益

2022年度 △451 億円

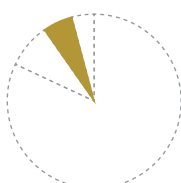
—

2023年度 1,240 億円

情報通信事業

売上高構成比

5.6%



売上高

2022年度 2,228 億円

+1.1%

2023年度 2,253 億円

経常利益

2022年度 430 億円

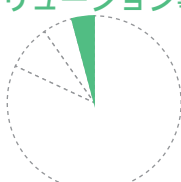
+10.4%

2023年度 474 億円

生活・ビジネスソリューション事業

売上高構成比

3.9%



売上高

2022年度 1,493 億円

+4.7%

2023年度 1,564 億円

経常利益

2022年度 209 億円

+7.1%

2023年度 223 億円

非財務情報については、統合報告書・ESGレポートをご覧ください。

統合報告書

https://www.kepco.co.jp/share_corporate/pdf/2023/report2023.pdf



ESGレポート

<https://www.kepco.co.jp/corporate/report/esg/pdf/2023/esg2023.pdf>





EX・VXの取組みを具現化、また、経営基盤強化に資するBXの取組みを強化し、さらなる成長への道筋を確かなものとするため、中期経営計画をアップデートいたしました。

●財務目標のアップデート

	2025年度 (2021年3月設定)	2025年度 (2024年4月アップデート)
経常利益	2,500億円以上	3,600億円以上
FCF	2021-2025年度合計で 黒字化	2021-2025年度合計で 3,000億円以上
	2,000億円以上	1,000億円以上
自己資本比率	23%以上	28%以上
ROA ^{※1}	3.5%以上	4.4%以上
ROIC ^{※2}	-	4.3%以上

※1：ROA〔総資産事業利益率〕＝事業利益〔経常利益＋支払利息〕÷総資産〔期首・期末平均〕

※2：ROIC〔投下資本利益率〕＝税引後事業利益÷投下資本〔期首・期末平均〕

●残り2ヵ年の取組みのアップデート

事業運営の大前提

ガバナンス確立と
コンプライアンス推進

- ・業務改善計画の完遂に加えて、内部統制強化・組織風土改革の取組みを両輪で推進
- ・様々な環境変化とリスクへの確実な対応

取組みの柱

KX：Kanden Transformation

1	ゼロカーボンへの挑戦 <i>EX：Energy Transformation</i>	「関西電力グループ ゼロカーボンロードマップ」に基づき、取組みを進めることで、脱炭素化を牽引
2	サービス・プロバイダーへの転換 <i>VX：Value Transformation</i>	既存事業の周辺領域・重なり合う領域において、取組みを進めることで、新たな価値をお客さまへ提供
3	強靱な企業体質への改革 <i>BX：Business Transformation</i>	DXの推進やコスト構造改革等に引き続き取り組むとともに、「人」と「しくみ」の取組みを強化

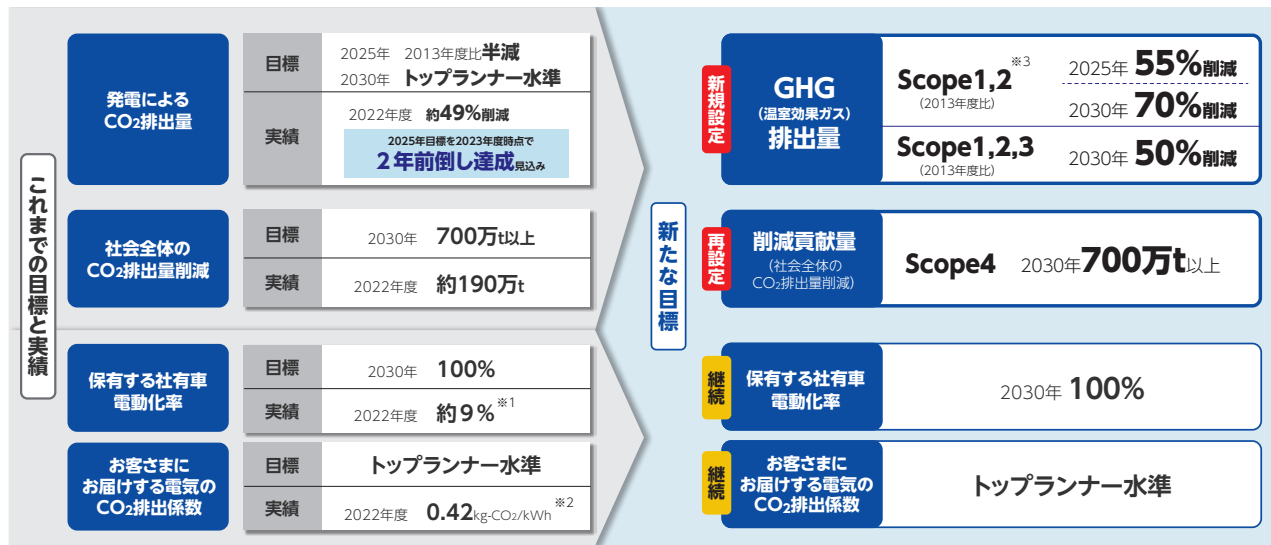
ゼロカーボンロードマップの改定について

ゼロカーボンロードマップの改定に関する詳細はこちらをご覧ください。

https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2024/pdf/20240430_6j.pdf



- ・当社は、2022年3月にゼロカーボンロードマップを策定し、中間地点である2030年度に向けて取組みを進めております。
- ・本年4月にゼロカーボンロードマップを改定し、「2030年度におけるサプライチェーン全体の温室効果ガス排出量50%削減」を含む、チャレンジングな目標を新たに設定しました。ゼロカーボンロードマップに基づく取組みをさらに加速してまいります。



※1：関西電力(株) + 関西電力送配電(株)

※2：電気事業低炭素社会協議会会員事業者全体の調整後排出係数0.437kg-CO₂/kWh(2022年度確報値)

※3：GXリーグへ2023年9月に提出した際の排出量目標値と同じ

当社グループにおける気候変動への対応についての詳細はこちらをご覧ください。

https://www.kepco.co.jp/share_corporate/pdf/2023/report2023_14.pdf



業務改善計画の取組みについて

業務改善計画の進捗に関する詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.kepco.co.jp/ir/stockholder/meeting/100kai/pdf/kaizenkeikaku.pdf>



- ・当社は、新電力顧客情報の不適切な取扱い、独占禁止法違反行為を踏まえ、昨年5月、8月に業務改善計画を提出いたしました。
- ・昨年5月に「公正な競争の実現に向けたトップコミットメント」を宣言しており、このコミットメントのもと、役員および社員が新たな事業ルールに対する意識・行動変革を行うとともにルールを遵守する仕組みを構築し、浸透させながら、再発防止策を着実に進捗させております。

新電力顧客情報の不適切な取扱いによる 電気事業法違反等の再発防止策	特別高圧電力および高圧電力の取引に関する 独占禁止法違反行為の再発防止策
● 託送情報に係る情報システムの物理的分割等 ● 情報システム開発・運用プロセスにおける対策 ● ソリューション本部において速やかに行った措置 (業務運用および情報システムの総点検、コンプライアンス研修と継続して研修を行う仕組みの整備、従業員の声を拾い上げるための対話活動の強化、業務の適切性を確保するためのチェック体制の強化、委託先への対応)	● 社内規程等の整備 (独占禁止法遵守のための仕組み整備) ● 教育・研修等の充実 (独占禁止法の理解促進及びコンプライアンス意識の再徹底) ● 予防機能の強化 (独占禁止法違反防止のための支援体制の強化) ● 監視機能の強化 (チェック機能の強化)
徹底する発生原因を踏まえた共通の再発防止策	

実績は2024年4月末時点の情報を記載

- **内部統制の強化**
 - ・コンプライアンス推進本部およびチーフ・コンプライアンス・オフィサーの設置、内部監査の強化。(内部統制部会を計13回開催)
- **組織風土の改革**
 - ・社長を議長とする「組織風土改革会議」を設置(計19回開催)し、重要課題の抽出、施策整理を実施しつつ順次実践。
- **外部人材を活用した取組みの実施状況及び実効性の検証**
 - ・取締役会による特別監督として、執行側から業務改善計画の実施状況の報告を受け、助言・指導を実施。
 - ・監査委員会による特別監査として、一連の改革の取組み状況について定期的かつ必要に応じて報告を求め、常勤監査委員がその内容を監査委員会に報告。
また、役員が関与する不正(マネジメントオーバーライド)に対する内部統制上の予防、早期対処の観点から、監査委員会の内部監査部門等に対する指示権限を明確化し、執行に対する牽制、監査機能を強化。
 - ・コンプライアンス委員会が、必要なモニタリングと見直しを継続的に実施。

再発防止に向けた業務改善計画については、当社ウェブサイトに掲載しております。

